

# 平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年11月7日

上場会社名 株式会社 フレンドリー  
 コード番号 8209 URL <http://www.friendly-co.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重里育孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 吉村哲行  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 大

TEL 072-874-2747

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	7,806	—	42	—	48	—	△204	—
20年3月期第2四半期	8,292	△2.7	△112	—	△106	—	△68	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△13.95	—
20年3月期第2四半期	△4.66	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	10,971	—	7,827	—	71.4	—	535.22	—
20年3月期	11,534	—	8,037	—	69.7	—	549.49	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 7,827百万円 20年3月期 8,037百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	△5.8	100	—	100	—	△180	—	△12.31

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 14,645,584株 20年3月期 14,645,584株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 19,985株 20年3月期 19,185株  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第2四半期 14,626,170株 20年3月期第2四半期 14,627,942株

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。なお、四半期財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第6条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期財務諸表等規則を適用しております。

2. 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライム問題に端を発した金融不安が实体经济に大きく影響を及ぼし、景気は後退局面に転じました。当外食業界におきましても、食の安全・安心を揺るがす諸問題に加えて、同業のみならず中食業界との競争激化や消費者の生活防衛意識の高まりで、経営環境は極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、当事業年度の出店・業態転換ペースをスローダウンさせ、①各業態の店舗オペレーション見直しによる運営コストの低減、②商品構成の見直しによる原価の改善と適正な粗利益の確保、③恒常化した販売促進（割引）費の適正化、④顧客満足度向上への取り組みとともに従業員満足度の向上、等の施策に全力で取り組んでおります。

当第2四半期累計期間における経営成績は次のとおりであります。

店舗展開につきましては、「団欒れすとらん ボンズ」から「産直鮮魚と寿司・炉端 源ぺい」へ4店舗を転換し、順調に推移しております。また、「ギンガムキッチン」を「ファミリーレストラン フレンドリー」に転換いたしました。一方、不振店を4店舗（ボンズ3店舗、フレンドリー1店舗）閉鎖いたしましたので、当第2四半期会計期間末の店舗数は前事業年度末比4店舗減少し、125店舗（前年同期比6店舗の減少）となりました。

業態別には、「おいしい・たのしい・ここちいい」をコンセプトとする洋食の「ファミリーレストラン フレンドリー」47店舗、一本仕入の本マグロが好評の「産直鮮魚と寿司・炉端 源ぺい」37店舗、「和・洋・中の料理と団欒」をコンセプトとする「団欒れすとらん ボンズ」20店舗、「日本の原風景“里山”」をコンセプトとする居酒屋「和み料理と味わいの酒 土筆んぼう」18店舗、「かぐや姫の里 安芸の小京都“竹原”」をコンセプトとする「しゃぶしゃぶ・鍋 季節の和膳 竹〇屋」2店舗、「健康応援バイキング」のレストラン「ダイニング・ビュッフェ い〜とみ〜と」1店舗となっております。

消費者の外食控えや店舗数の減少の結果、売上高は、7,806百万円（前年同期比486百万円の減少）となりました。営業利益は42百万円（前年同期比155百万円の増加）、経常利益は48百万円（前年同期比154百万円の増加）となり、当事業年度の重点施策である人件費・広告宣伝費のコントロール効果が発現し、前年同期に比べて改善いたしました。なお、低採算店の減損損失・店舗閉鎖に伴う固定資産除却損・貸倒引当金の繰入れ等187百万円を特別損失に、繰延税金資産の取崩し等による税金費用57百万円を法人税等調整額に計上いたしましたので四半期純損失は204百万円（前年同期比135百万円の減少）となりました。

なお、「前年同期比増減」につきましては、参考として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は、10,971百万円で前事業年度末比563百万円の減少となりました。主な要因は、手許流動性の取り崩しによる借入金の返済や貸倒引当金の計上等によるものであります。負債合計は借入金の減少等により前事業年度末比354百万円減少し、3,143百万円となりました。純資産は四半期純損失等により前事業年度末比209百万円減少し、7,827百万円となりました。この結果、当第2四半期会計期間末の自己資本比率は、前事業年度末比1.7ポイント上昇して71.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末比285百万円減少し、2,535百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収支は、減価償却費209百万円等の増加要因に対して、税引前四半期純損失127百万円等の減少要因により87百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の収支は、差入保証金の回収51百万円等の増加要因に対して、有形固定資産の取得200百万円等の減少要因により152百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の収支は、長期借入金の返済等により220百万円の減少となりました。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績につきましては、消費不振で売上高は前年同期に比べて減少いたしました。店舗オペレーションの立て直しと原価・人件費・販促費対策の結果、営業利益・経常利益は前年同期に比べて改善することができました。なお、四半期純利益は、減損損失・貸倒引当金の繰入れ・繰延税金資産の取崩し等を計上したことにより減益となりました。下期につきましては、食材原価の上昇と消費マインドの低下による影響は避けられず、経営環境は一段と厳しくなることが予想されますので業績予想を修正いたします。

詳細は、平成20年11月7日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。なお、四半期財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第6条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期財務諸表等規則を適用しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純損失への影響はありません。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,535,739	2,820,944
売掛金	59,992	66,067
商品及び製品	25,653	24,274
原材料及び貯蔵品	99,314	102,341
前払費用	122,716	87,155
繰延税金資産	—	57,344
その他	20,685	25,474
貸倒引当金	△150	△170
流動資産合計	2,863,952	3,183,431
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,493,526	2,555,865
土地	2,314,619	2,314,619
その他（純額）	455,836	461,041
有形固定資産合計	5,263,982	5,331,527
無形固定資産		
投資その他の資産	58,792	59,809
投資有価証券	162,506	170,645
差入保証金	2,352,869	2,447,723
その他	338,020	341,836
貸倒引当金	△69,000	—
投資その他の資産合計	2,784,396	2,960,205
固定資産合計	8,107,172	8,351,542
資産合計	10,971,124	11,534,973
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	354,115	419,769
1年内返済予定の長期借入金	440,000	440,000
未払金	455,201	486,526
未払法人税等	42,589	60,697
店舗閉鎖損失引当金	7,320	9,780
その他	73,672	62,784
流動負債合計	1,372,899	1,479,557
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	770,000	990,000
繰延税金負債	33,882	37,170
再評価に係る繰延税金負債	210,927	210,927
その他	155,457	180,225
固定負債合計	1,770,267	2,018,323
負債合計	3,143,166	3,497,880

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,975,062	3,975,062
資本剰余金	3,058,146	3,058,146
利益剰余金	1,675,271	1,879,279
自己株式	△10,258	△9,921
株主資本合計	8,698,221	8,902,566
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60,700	65,490
土地再評価差額金	△930,964	△930,964
評価・換算差額等合計	△870,264	△865,474
純資産合計	7,827,957	8,037,092
負債純資産合計	10,971,124	11,534,973

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	7,806,117
売上原価	2,498,827
売上総利益	5,307,290
販売費及び一般管理費	5,264,942
営業利益	42,347
営業外収益	
受取利息	3,976
受取配当金	1,173
受取家賃	57,968
設備賃貸料	19,519
その他	10,872
営業外収益合計	93,510
営業外費用	
支払利息	14,241
賃貸費用	48,992
設備賃貸費用	18,935
その他	5,360
営業外費用合計	87,531
経常利益	48,326
特別利益	
固定資産売却益	1,238
賃貸契約違約金収入	10,000
その他	117
特別利益合計	11,356
特別損失	
固定資産除却損	50,556
減損損失	41,108
貸倒引当金繰入額	69,000
前期損益修正損	13,852
店舗閉鎖損失引当金繰入額	7,320
その他	5,794
特別損失合計	187,632
税引前四半期純損失(△)	△127,948
法人税、住民税及び事業税	18,714
法人税等調整額	57,344
法人税等合計	76,058
四半期純損失(△)	△204,007

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純損失(△)	△127,948
減価償却費	209,415
減損損失	41,108
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△2,460
貸倒引当金の増減額(△は減少)	68,980
受取利息及び受取配当金	△5,150
支払利息	14,241
有形固定資産除売却損益(△は益)	49,317
その他の損益(△は益)	△5,446
売上債権の増減額(△は増加)	6,471
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,648
仕入債務の増減額(△は減少)	△65,653
未払消費税等の増減額(△は減少)	16,498
その他の資産の増減額(△は増加)	82,920
その他の負債の増減額(△は減少)	△59,990
小計	223,961
利息及び配当金の受取額	1,811
その他の収入	96,694
利息の支払額	△13,177
その他の支出	△185,617
法人税等の支払額	△37,282
法人税等の還付額	1,044
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,434
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△200,514
有形固定資産の売却による収入	1,238
貸付金の回収による収入	817
差入保証金の差入による支出	△5,000
差入保証金の回収による収入	51,552
その他の支出	△300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152,206
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△220,000
自己株式の取得による支出	△337
配当金の支払額	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220,432
現金及び現金同等物に係る換算差額	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△285,204
現金及び現金同等物の期首残高	2,820,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,535,739

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 部門別売上高

(単位:千円)

期 間 部 門	当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		前第2四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)
ファミリーレストラン フレンドリー	2,793,376	35.8	2,956,953	35.7
産直鮮魚と寿司・炉端 源べい	2,493,552	31.9	2,139,214	25.8
団欒れすとらん ボンズ	1,170,762	15.0	1,823,222	22.0
和み料理と味わいの酒 土筆んぼう	1,167,478	15.0	1,165,354	14.1
しゃぶしゃぶ・鍋 季節の和膳 竹〇屋	91,964	1.2	100,985	1.2
ダイニング・ビュッフェ い〜とみ〜と	64,518	0.8	80,597	0.9
ギンガムキッチン	24,464	0.3	26,278	0.3
合計	7,806,117	100.0	8,292,605	100.0

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 前中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
売上高	8,292,605
売上原価	2,681,278
売上総利益	5,611,326
販売費及び一般管理費	5,724,271
営業損失(△)	△ 112,945
営業外収益	
受取利息	4,591
受取配当金	1,080
受取家賃	61,914
設備賃貸料	22,369
その他	7,505
営業外収益合計	97,461
営業外費用	
支払利息	11,332
賃貸費用	54,680
設備賃貸費用	21,001
その他	4,128
営業外費用合計	91,142
経常損失(△)	△ 106,626
特別利益	
固定資産売却益	100,555
店舗閉鎖損失引当金戻入益	52,665
役員退職慰労引当金戻入益	49,356
特別利益合計	202,577
特別損失	
減損損失	127,083
棚卸資産廃棄損	20,664
特別損失合計	147,748
税引前中間純損失(△)	△ 51,797
法人税、住民税及び事業税	17,740
法人税等調整額	△ 1,390
法人税等合計	16,350
中間純損失(△)	△ 68,147

(2) (要約) 前中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純損失 (△)	△ 51,797
減価償却費	228,164
減損損失	127,083
貸倒引当金の増減額(△は減少)	30
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△ 153,156
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△ 61,665
受取利息及び受取配当金	△ 5,672
支払利息	11,332
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△ 100,555
その他の損益 (△は益)	△ 114,000
売上債権の増減額 (△は増加)	14,158
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9,530
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 46,568
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△ 36,382
その他の資産の増減額 (△は増加)	△ 8,888
その他の負債の増減額 (△は減少)	265,799
小計	<u>77,412</u>
利息及び配当金の受取額	1,851
その他の収入	193,450
利息の支払額	△ 11,016
その他の支出	△ 117,607
法人税等の支払額	△ 37,550
法人税等の還付額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>106,540</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 516,121
有形固定資産の売却による収入	110,349
貸付金の回収による収入	777
差入保証金の差入による支出	△ 39,118
差入保証金の回収による収入	42,500
その他の支出	33,867
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 367,745</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△ 220,000
自己株式の取得による支出	△ 676
配当金の支払額	△ 72,943
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 293,620</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	<u>△ 554,824</u>
現金及び現金同等物の期首残高	<u>2,857,511</u>
現金及び現金同等物の中間期末残高	<u>2,302,687</u>